

地域に出る

神戸大学 ボランティアと社会貢献のススメ 2024





ボランティアのススメ

みんなの声 2024

ちょっと
興味あるかも…
で大丈夫！

地域に根ざし、
人との触れ合いを
大切に

普段できない体験を
することが多く、日
常生活の中では出
会えないような人や
風景に出会えます。

活動参加の動機
がどんなもので
あれ、参加する
ことそのものに
意味がある！

被災者の方に話を
聞いてみよう
きっと、地域の人は
あなたを待ってる！

世界中に
友達ができます！

ぜひ気軽に
チャレンジしてみ
てください！

目次

農家さんとお話し
しながら農ボラし
てみませんか？

ボランティアに情熱をもっ
て勤しむ方々との出会い
や、地域の方との交流は、
きっと新たな視点をもら
してくれるはず…！

地域の温かさを
感じられます！

地域と関わり、
日常では出会えない
経験ができます！

学生時代の
つながりは
未来の宝物

部員はみんな未経験
から始めています。
安心して体験しに来
てください！

新たな発見が
自分の成長に
つながります！



ボランティアのスズメ2024・みんなの声	2
ボランティア団体紹介	
いつもと違う、人と風景に出会えます	4
にしき恋～地域密着型サークル	
Luonto～多世代交流拠点サークル	
AGLOC～国際農業サークル	
地域に出よう～人と会おう	6
灘チャレンジ実行委員会	
灘地域活動センター(N.A.C.)	
神大モダン・ドンチキ	
地域で取り組むボランティア	8
とんかちセクション	
住之江児童館セクション	
障がい者セクション	
手話サークル ベンベン草	
キャンパスから世界へつながる	10
Truss	
アイセック神戸	
ボラカフェ2023・春/秋	11
子どもたちと一緒に	12
児童文化研究会	
摩耶のんびり自習室	
えこふる～環境サークル	
29年前から続く災害・復興ボランティア	14
学生震災救援隊	
総合ボランティアセンター	
災害・復興ボランティア～地域と共に	15
ボランティアパスプロジェクト	
持続的災害支援プロジェクト Konti	
神戸大学ボランティア・社会貢献の取組	
阪神・淡路大震災30年・神戸大学生の語り継ぎ	16
神戸大学内の連携・取組み	18
都市安全研究センターとの共催事業	
農学研究科地域連携センターとの共催事業	
保健学研究科地域連携センターの取組	
神戸大学ホームカミングデイ	20
神戸大学地域連携推進本部	
ボランティア支援部門の紹介	
授業「ボランティアと社会貢献活動 A・B」	21
ボランティア・社会貢献活動の支援	22
学生団体が受けている助成金	23
地域連携推進本部ボランティア支援部門	

にしき恋 ～地域密着型サークル

「食と農、都市と農村の架け橋になる」を目的とし、以下の活動を行っています。農業ボランティア:農作業の人手不足を補うとともに、学生が農業に関する知識・技術を向上させるために農家さんのお手伝いをしています。耕作放棄地(にしき恋farm)管理:田畑の管理を学生が主体的に行い、農産物の生産から販売までを実践しています。地域交流:地域の祭礼参加、学生主体のイベント実施等により地域活性化にも取り組んでいます。

H P <https://nishikioisasayama.wixsite.com/home?lightbox=datatem-k1rwjff6d>
X(旧Twitter) <https://twitter.com/nishikikoi2013>
メンバー数 150名
活動場所 丹波篠山市
連絡先 nishikikoi.sasayama@gmail.com



いつもと違う、人と

Luonto ～多世代交流拠点サークル

2022年度に農学部授業から誕生。
アグリステーション丹波ささやまにて、多世代交流づくりを目標に活動しています。篠山での学生カフェ運営(現在準備中)とボランティア、六甲道の成徳小学校とのまちむら交流(稲刈り交流やイベントへの参加)を軸に活動中です。DIYから料理、農作業まで幅広く動いています。少人数なので、色々挑戦しやすいところもルオントの魅力。美味しいものと自然にどっぷりつかりたい方、求む!

X(旧Twitter) @luonto_kobe2022
Instagram @luonto_kobe
メンバー数 30名(男女比4:11)
活動場所 アグリステーション丹波ささやま(丹波篠山市) JR六甲道駅付近





風景に出会えます



AGLOC ~国際農業サークル

農業と国際交流を主なテーマとするサークルです！月1,2回ほど留学生と共に農業ボランティアを実施しています。その他にも地元のイベントにも携わることができ、農家さんとの繋がりが強いのも特徴の一つです。また、神戸大学国際交流課が主催の留学生日本文化旅行にて観光の引率も担当しています。アットホームな雰囲気のあるサークルです！農業と国際交流に興味のある方はぜひ！

H	P	http://agloc.net/home_AGLOC.html
X(旧Twitter)		@AglocKobe
Instagram		@agloc.kobe
メンバー数		約20名
活動場所		丹波篠山市岡野地区
連絡先		agloc.kobe@gmail.com



地域に出よう～人と会おう



▶ 灘チャレンジ実行委員会

灘チャレンジは阪神・淡路大震災の復興祭として始まったお祭りです。毎年学生が中心となり、地域の方々と協力して創り上げる灘チャレンジを通して「灘のまちづくりチャレンジ」してきました。2023年度の灘チャレンジは新型コロナの影響で実現できなかった飲食模擬店とビンゴゲーム大会を再開させることができ、より地域とのつながりを感じてもらうことができるお祭りとなりました。

H P <https://nadachallenge.wixsite.com/nadachallenge>
X(ETwitter) @Ncha_2023
メンバー数 約35名
活動場所 都賀川公園(灘区)、鶴甲第一キャンパス、オンライン
連絡先 nadachallenge@yahoo.co.jp

▶ 灘地域活動センター(N.A.C.)

毎週土曜日の午後、JR灘駅近くの2カ所の集合住宅(県営岩屋北町住宅・HAT神戸灘の浜)で集会所をお借りしてふれあい喫茶を開催しています。お茶やコーヒーとお菓子、そして地域の方向士や学生とのおしゃべりが楽しめる憩いの場になるよう、学生にできることを模索しながら活動しています。クリスマス会などの季節ごとのイベントも開催します。

X(ETwitter) @NAC_dayo
Instagram nada_activity_center
メンバー数 約15名
活動場所 JR灘駅近く(県営岩屋北町住宅、HAT神戸灘の浜)
連絡先 nada.activity.center@gmail.com

▶ 神大モダン・ドンチキ

神戸大学のちんどんサークル。
イベントでのステージ出演、練り歩きでのにぎやかし。
練習は毎週火曜日と木曜日に
国際人間科学部キャンパスのどこかの教室でおこなっています。

H P <https://dontiki-chingdong.hatenablog.com/>
X(ETwitter) @modan_dontiki
Instagram dontiki_chingdong
メンバー数 およそ14名
活動場所 神戸市内ほか

いろいろな人と
出会えます!
ここでしか
できない経験を!





地域で取り組むボランティア



▶ 総合ボランティアセンターとんかちセクション

とんかちセクションでは月に2回程度、「天井川公園を守る会」との協力のもと、天井川公園の清掃活動を行っています。地域のひとたちと関わりながら、花壇の整備や落ち葉の収集、草木への水やりなど、季節に応じて変化する公園に合わせて様々な作業をします。

X(BTwitter) @ttton_kachiii
メンバー数 27名
活動場所 天井川公園(須磨区)
連絡先 soboratonkachi@gmail.com



▶ 総合ボランティアセンター住之江児童館セクション

住之江児童館に来館している子供たちと遊ぶことが主な活動です。月に1回、トランプ大会やカレンダーづくり、ドミノ大会といった学生企画も行っています。子供たちに、大学生だからこそ提供できる活動を体験してもらえるように企画を考えています。また、夏祭りやハロウィン、クリスマス会などの季節行事もあります！

X(BTwitter) suminoe_kids
メンバー数 7名
活動場所 住之江児童館(東灘区)

大学内でも数少ない子どもと触れ合える機会があります！

みんな一緒に



▶ 総合ボランティアセンター障がい者セクション

イベントを通じて障がい者と交流したり地域で暮らしている方の介護に入ったりしています。また学習会なども開き障がい者問題に目を向けています。

WeeBee掲載URL <https://weebee1212.com/dantai/front/content.Php?id=189>
X(旧Twitter) @Syoseku_gogo

「神戸大学総ボラ障がい者セクション 障セク」

活動頻度 1回～/週 説明会あり

メンバー数 16名

活動場所 神戸市各所、えんぴつの家デイケアセンター他



▶ 手話サークル ペンペン草

楽しく手話を学びつつ、手話を通じたらう者とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思い、活動しています。

ステージに立ち、パフォーマンスを披露することもあります！

手話経験・学年問わずいつでもメンバー募集中！

X(旧Twitter) @Pen_Peepen

メンバー数 50名

活動場所 【六甲台キャンパス】週2回/平日/対面・オンライン

【名谷キャンパス】@penpenmyodani

【合同活動】月2回程/休日/対面

連絡先 we.are.penpenkusa@gmail.com

一緒にボランティア
やってみませんか？

キャンパスから世界へつながる



▶ Truss

Trussは神戸大学の留学生に楽しく充実した生活を送ってもらうために活動しています。月に1回程度、スポーツ大会やハロウィン、クリスマスといった季節ごとのパーティー、留学生にふるさとの料理を教えってもらうクッキングイベントなどで親睦を深めると同時に、希望者でペアや班を作っておこなう言語交流会を通して留学生の日本語学習のサポートも行っています。

H P <https://truss-newhp.jimdofree.com/>
Instagram [_trusstagram_](#)
メンバー数 180名
活動場所 神戸大学内 六甲道、三宮周辺



▶ アイセック神戸

アイセックは、世界100以上の国と地域に支部を持ち、約30,000人の若者が所属する非営利組織です。私たちは「平和で人々の可能性が最大限発揮された社会」の実現を目指し、若者のリーダーシップを育む事業の運営をしています。アイセックの海外支部や卒業生の方々と協力しながら、海外インターンシップやオンラインでの国際交流プログラムを運営しています。

X (旧Twitter) @AIESEC_KB
Instagram aiesec_kobe
メンバー数 43名
活動場所 ミノ宮周辺・オンライン

日本の大学生を海外のNGOや教育機関などへ送り出す海外インターンシップと、海外の大学生を日本の企業などに受け入れていただく海外インターンシップを運営しています。



ボラカフェ2023

“ボランティア・カフェ”は学内のボランティア・社会貢献活動に取組む団体・サークルが集まり、互いの活動紹介や交流と、新しいメンバーの参加の場です。

ボラカフェ2023春

5月23日(新歓&交流会)

～ 神戸大学鶴甲第1キャンパス・学生ホール ～

【新歓】

新型コロナウイルス感染症の5類移行を待っていたかのようにボランティア支援部門登録ボランティア団体と保健学研究科から新規参加「ちゃぼ」の12団体が交流し、新入生、初参加含む55名の皆さんが参加しました。サークル活動に複数取組む“兼サー”も歓迎しています。



【団体交流会】

参加団体・メンバーの紹介からはじまり、活動の特徴、取組み方法など様々な意見を交わしました。その上で、メンバーの活動時の交通費をはじめとする団体活動の資金調達の方法も共有しました。さらに、今後継続して相互に交流するためのボランティア登録団体ネットワーク「ボランティア団体代表連絡会」を発足し、情報交換や共同の学外イベント出店案が出るなど楽しい時間を過ごし、「ボラカフェ秋」の開催を約束して終了しました。



ボラカフェ2023秋

12月12日(交流会)

～ 神戸大学鶴甲第1キャンパス・学生ホール ～

【新歓】

4月から半年以上経ち、学生生活に新展開もたらしたいと考える学生と学生団体代表たちが参加し、交流しました。

【団体交流会】

学生ボランティア団体が兵庫県内の神戸市、丹波篠山市、豊岡市での活動と、東北など全国の被災地で取組む活動を紹介しました。後半は、トランプのゲーム遊びを織り交ぜながら、団体運営やこれからの活動に向けた期待を話し合いました。また、団体の代表や幹部は秋から春にかけて次の代への交代準備期に入るので、団体運営などについても話あい、それぞれの活動に理解を深めながら話題のつきない時間を過ごしました。



児童文化研究会

児童文化研究会(どうけん)は今年で110年の歴史を持つ子どもと触れ合う児童ボランティア団体です。保育園や児童館で人形劇を企画する人形劇グループ、公園遊びや遠足を企画する子ども会グループがあります。ほんわかとした雰囲気、グループを超えて様々な企画に参加できるのがアピールポイントです！

たくさん子どもと関わる機会があります。人形劇をしてみたい人、子どもが好きな人、子どもと遊びたい人はぜひ見学、体験に来てください！

Instagram @kobe douken

活動状況 週2回程度

メンバー数 26名(子ども会グループ16名・人形劇グループ10名)

活動場所 部室(六甲台第2キャンパスグラウンド横)



人形劇は子どもを巻き込む
楽しい劇だよ！
子どもの笑顔が最高です！



子どもたちと





一緒に



学ぶ



摩耶のんびり自習室

中高生を対象にした学習支援ボランティアを月に2回のペースで行っています。コロナウイルスの影響により人と人のつながりがより一層薄くなっていく中で、ふらっと寄って勉強したり、年齢の違う人と話したりする居場所を作りました。家や学校、塾ではない場所で2時間集中して勉強をしたいあなたも、行ってみようか迷っているあなたも、私たちはのんびり待っていますので、お気軽にお越しください。

H	P	https://www.nadaku-shakyo.org/news/entries/post438.html
X(ETwitter)	@maya_nonnbiri	
Instagram	@nonbiri_mayatiku	
活動状況	基本的に第1,3土曜日18:00~20:00の月2回	
メンバー数	8名	
活動場所	摩耶地域福祉センター	
連絡先	nonbirijsyusitu@gmail.com	

環境サークルえこふる

神大生や地域の人々の環境問題への意識を高めることや、環境問題に取り組みたい学生が活動できる場を設けることを目的に、日々活動しています。2023年度は、児童館にて食品ロスをテーマにしたオリジナルのかるたを使って出前授業を行い、総合ボランティアセンター住之江児童館セクションさんの企画の一つとしても行わせていただきました。子どもたちの反応が毎回大きくて、とてもやりがいがあって楽しいです！

H	P	https://ecofullkobeuniv.wixsite.com/-site
X(ETwitter)	@iRgFHqkxYMi8X5N	
メンバー数	4名	
活動場所	神戸市内の児童館等	

29年前から続く災害・復興ボランティア



▶ 学生震災救援隊

私たち学生震災救援隊は、阪神・淡路大震災の救援活動をきっかけに生まれたボランティア団体です！最近では、能登半島地震の支援活動などを行っています。救援隊は災害派遣だけではなく地域のお祭りを運営したり、高齢の方と一緒にお茶会をしたり楽器を演奏したりと様々な活動を行っています。活動の幅が広いので、自分がやりたいこともきっと見つかるはず！

X(旧Twitter) @Qentai
メンバー数 約80名
活動場所 神戸市各所、全国の被災地

ほんの少しの勇気があれば、
あなたも被災地の力になる



▶ 総合ボランティアセンター

阪神・淡路大震災をきっかけに、神戸大学生にボランティア活動にもっとふれてもらおう、という目的で設立されました。現在は9つのセクションに分かれて活動しています。ボランティアの内容は子どもと遊ぶ、障害者とお出かけする、手話や点字を学ぶ、高齢者とお茶会でお話する、公園を掃除する、地域のお祭りをつくるなど様々です。また、地域から寄せられるボランティア依頼にも参加できます。

X(旧Twitter) @kuvc1995
メンバー数 143名
活動場所 神戸市を中心にセクション毎に展開

災害・復興ボランティア～地域と共に



▶ ボランティアバスプロジェクト

東日本大地震をきっかけに発足し、これまで延べ60回以上、1,700名以上の学生と被災地でボランティア活動を展開してきました。現在は、①岩手県(東日本大地震被災地)と②神戸市長田区(阪神・淡路大震災被災地)で、A)地域づくりボランティア活動とB)震災伝承活動を行っています！被災地の住民さんとのあたたかい繋がりの中でボランティアしたい方、伝承活動に興味のある方、是非一緒に活動しましょう！

H **P** <https://ku-tono.amebaownd.com/>
プ **ロ** <https://ameblo.jp/ku-tono/>
グ <https://ameblo.jp/ku-tono/>
I [Instagram @tohokuborabasu](https://www.instagram.com/tohokuborabasu)(メイン)
活 神戸大学ボランティアバスプロジェクトの日常
動 神戸市内、東北被災地
場 ku.tohoku@gmail.com
所
連 メール、Instagramまでお願いします！
絡 **先**



▶ 持続的災害支援プロジェクトKonti

Kontiは2016年の熊本地震をきっかけに発足した団体です。現在は、主に宮城県仙台市若林区荒浜で活動しています。荒浜に集うみなさんの交流拠点となっている「海辺の図書館」がより居心地の良い空間となるようアイデアを出し合い、環境整備のサポートを行っています。また、昨年度は神戸で荒浜の魅力を発信する写真展も開催しました。他にもビーチクリーンへの参加や震災遺構の訪問など様々な活動に取り組んでいます。

H **P** <https://kobekonti.wixsite.com/konti>
X(**I**B**T**Twitter) @kobekonti
I [Instagram @kobekonti](https://www.instagram.com/kobekonti)
活 主に宮城県仙台市若林区荒浜
動 **場** kobekonti@gmail.com
所
連 **絡** **先**

温かい人たちと
出会えます！





神戸大学は阪神・淡路大震災被災地の国立大学として、防災や復興にかかわる研究、国内外での研究成果の発信、地域社会への貢献活動を進めてきており、30年の節目を機にその蓄積を整理し、「神戸大学阪神・淡路大震災30年事業委員会」（委員長：藤澤正人学長）の下、研究や教育、災害文化の継承などについてまとめた上で今後の展開を見据え、社会への発信を全学で展開しています。

神戸大学 阪神・淡路大震災30年事業委員会 震災30年・キックオフ事業

神戸大学生30年の語り継ぎ・シンポジウム 「阪神・淡路大震災をどう受け継いできたか」

主催：神戸大学地域連携推進本部
阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

開催：2024年1月27日(土) 人と防災未来センター西館1F&オンライン
人と防災未来センター「災害伝承“語り継ぎ”探求サロン」シリーズ

挨拶：奥村 弘（神戸大学理事・副学長・地域連携推進本部長）
登壇：神戸大学災害ボランティア学生団体

学生震災救援隊（救援隊）	（1995年設立）
灘チャレンジ実行委員会（灘チャ）	（1995年設立）
灘地域活動センター（N.A.C.）	（1997年設立）
ボランティアバスプロジェクト	（2011年設立）

コメンテーター：津久井 進（兵庫県弁護士会 元会長・神戸大卒業生）
平林 英二（人と防災未来センター 企画ディレクター）
辛島 理人（神戸大学大学院国際文化学研究所 准教授）

コーディネーター：山地 久美子（神戸大学地域連携推進本部 特命准教授）
OB / OG：頼政 良太（被災地 NGO 協働センター代表）
（オンライン）関本 英恵（灘地域活動センター 14年度代表）
稲葉 滉星（ポラバス 16年度代表・Konti 創設）

地域の方々：門脇 龍三（灘区・なぎさふれあいのまちづくり協議会）
高田 とし（灘区・灘チャ支援者）
菅 利秋（長田区・日吉町 5丁目自治会）

学生たちは各団体の設立理念、先輩たちの想いを受け継ぎ、それぞれの代での活動を生み出しながら、後輩に語り継いできています。団体メンバー、OB／OG、教員、学生たちを支えてくださる地域の方々、120名の参加者と共に30年の活動と未来を考えました。



〔冒頭挨拶・まとめ〕奥村弘理事・副学長・副実行委員長:学生たちの30年を振り返り、教育、研究、ボランティアを未来に繋ぐ

本シンポジウムは、神戸大学阪神・淡路大震災30年事業のキックオフとなるものです。阪神・淡路大震災以降の大災害を契機とする災害・復興支援ボランティア活動への学生の想いや活動について、学生・OB／OG、地域の方々、教員たちが多様な立場、視点から意見を交わすことが目的です。学生が地域の方々と柔軟に楽しく取り組んできたことが他に例を見ない神戸大学の災害文化だと実感し、この一年、共に教育、研究、ボランティア活動を未来に繋いでいく事業のキックオフに相応しいものになりました。

〔耐震構造の人間関係〕学生震災救援隊

震災の翌週1月23日に設立した学生震災救援隊は、直後から避難所支援を始め、寺子屋、パトロール、「救援隊通信」発行など様々な支援活動を実施。その活動の根本にあるのは、人と人の繋がりを大切に「耐震構造の人間関係」=団体創設の考えである。災害は元々あった問題を顕在化させるから「取り残された所に行く」との信念を持って29年間活動に取り組んでいる。今回、2022～24年度の代表3人も強調したのは、人と向き合うことを大事にしてきた救援隊の思想であり、代替わりの際にOB／OGから伝え聞き、仲間と語り合い、共感しあうネットワークの大切さと自由度の高さである。学生震災救援隊は灘チャレンジ実行委員会、灘地域活動センター、モダン・ドンチキといった重層的な形態で災害と真摯に向き合いながら、楽しい活動を目指している。

〔住民皆さんと共に〕灘チャレンジ実行委員会・灘地域活動センター

灘チャレンジ実行委員会は、1995年6月4日、震災復興祭「六甲祭」を六甲八幡神社で企画・運営したことから始まり、その後も開催形式を工夫しつつ寸劇・風刺劇など特長のあるものを継承してきた。地元のお店街々やOB／OGたちと構成する地元委員会から直々に経験を教えてもらい、語り合い、震災との繋がりを絶やさないようにコロナ禍も乗り越え活動している。

灘地域活動センターは、被災者が入居された災害公営復興住宅でのお茶会を1997年から継続して開催し、当時から、住民皆さんの話と被災の経験を伺いそれを記憶・記録に留めていて、これまでの軌跡が残っている。

〔阪神・淡路と東日本大震災被災地をつなぐ〕ポラパス

東日本大震災発災後、4月30日に設立し、岩手県を中心に被災者の早期復興への支援に向けて現地で60回、1700名以上の学生が活動してきた。被災地の復興のステージが変化し、23年に団体名から「東北」を外して活動の幅を広げ、地震、津波災害の伝承と防災・減災活動に重きをおき、阪神・淡路大震災激甚被災地長田区では平時の地域活動と慰霊・伝承活動へ参画し、岩手県大槌町では浪板大神楽など郷土芸能の伝統文化復興支援に取り組んでいる。

OB／OGからのメッセージ:学生時代のボランティア経験が使命感を芽生えさせ、仕事や社会貢献に取組むきっかけとなっている。

元旦に起こった能登半島地震被災地支援に尽力する頼政良太代表は学生時代のネットワークが活動の展開に繋がっていて、関本英恵さんと稲葉凜星さんも仕事、社会での取組みと学生時代の活動との連続性について触れられた。

学生団体の活動を受け入れ、支援くださる地域団体皆さん

「学生の皆さんと一緒に活動が楽しいし、自分たちも力をもらっている」との温かいメッセージが送られた。

平林英二ディレクターのコメント

30年間神戸大学生がしてきたことを深く立体的に知る機会となった。学生の皆さんがどれだけの時間を活動に費やしてきたのかと思うと、一言「すごい」と伝えたい。

津久井進弁護士コメント

司法修習生と学生(救援隊での活動)を両立していた。日弁連・災害復興支援委員会委員など歴任し、その根底には当時の活動があるから「今の自分が居る」と振り返れた。その上で、学生団体がここまで継続できたのは、背負っているものとか、システムから自由であることが大切であったこと、それが持続可能性を高めてきたと気が付いた。皆さんがしたいことをやっていくことが大事だと思う。

辛島理人准教授コメント

災害時の歴史資料の保存やボランティア活動など、神戸大学は日本社会へ公共財を様々提供してきた。これから政治・観光レジリエンスはますます重要になり、更なる貢献ができると思う。

司会・山地久美子特准教授

形に残るもの、残せない活動がある中で学生震災救援隊と3団体が記録を続けた「救援隊通信」(2023年・71号)を発行している。ポラパスは「つながりポート」と阪神・淡路大震災のインタビューをまとめている。これから一年かけて、30年間の災害・復興支援ボランティア活動を冊子にまとめ、神戸大学と社会の公共財として残したい。



神戸大学生・教員・人と防災未来センターの皆さん

パネル展

阪神・淡路大震災を どう受け継いできたか —神戸大学生30年の語り継ぎ—

会場：人と防災未来センター西館1F
期間：2024年1月27日(出)～3月3日(日)
主催：神戸大学地域連携推進本部
人と防災未来センター



神戸大学生 災害ボランティア活動報告&交流会

6月17日

神戸市役所危機管理センター

都市安全研究センター・地域連携推進本部 共催

第289回RCUSSオープンゼミナール「復興・減災の担い手:学生災害ボランティア」・交流会

東日本大震災と阪神・淡路大震災の被災地でボランティアに取り組む学生3団体が近藤民代・都市安全研究センター教授の司会進行で報告し、被災地で学生を受入れている2つのNPO法人代表の報告を聞いた後に、フロア全体で意見を交換しました。

学生からはコロナ禍の3年間、現地とのオンライン交流や手紙の往来などで交流を続けてきた様子が報告された一方で、「被災現地のニーズがわかりにくくなってしまっている」と、社会に貢献できているのか、と、ボランティア活動の根本にかかわる悩みも出てきました。

それに対し講師からは、学生の活動は地域から強く求められている、とのエールとともに、災害のステージ変化とニーズの多様化を受け入れること、その過程で対等な関係性をつくり上げることや情報を読み解く力を身につける重要性を熱く語っていただき、その激励メッセージは学生の心に届き、これからの活動への自信に繋がりました。

- ・神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti
- ・神戸大学ボランティアパスプロジェクト
- ・神戸大学学生震災救援隊
- ・東北まちらボ 橋本 大樹 代表理事
- ・エフエムわいわい 金 千秋 代表理事



「味わう篠山」 & 交流会

神戸大学鶴甲第1キャンパス・学生ホール

地域連携推進本部ボランティア支援部門 主催

丹波篠山市地域おこし協力隊 協力



農学研究科地域連携センター 共催

神戸大学は丹波篠山市と連携協定を結んでいて、農学部では「実践農学入門」実習を実施し、履修した学生が関わりを続けたいとサークル活動を展開しています。この「味わう篠山」イベントは現地で活動する4つの学生団体と丹波篠山市の半学半地域おこし協力隊が協力し、神戸大学生、教職員と丹波篠山の魅力と団体の取組みを知ってもらおうと企画しました。

会は田中丸治哉・農学研究科地域連携センター長・地域連携推進本部副本部長の挨拶から始まり、4団がそれぞれの活動内容やその魅力、丹波篠山の良さなどをパネルでの展示とプレゼンテーションしました。AGLOCで活動する留学生や農業ボランティアに興味のある学生が参加し、興味津々に話を聞いてました。

今回は司会の石田歩夢・丹波篠山市地域おこし協力隊員が丹波篠山で活動する学生団体に声をかけ、4団体が協力して事業を実施する初めてのイベントでした。各団体が自分にできることに積極的に取組んだことで、団体間の理解も深まる楽しい機会となりました。

丹波篠山市役所の方、丹波篠山に関係ある多くの方に参加いただき、丹波篠山を味覚から知ってもらうために準備した黒豆茶と黒豆も大人気でした。次回は丹波篠山市で地域の皆さんと一緒に開催したいと、話し、楽しく会を終えました。

- ・地域密着型サークルにしき恋
- ・AGLOC-神戸大学国際農業サークル
- ・多世代交流拠点サークル Luontoルオント
- ・楽市楽座プロジェクト-実践農学 草山応援団
- ・丹波篠山市地域おこし協力隊

保健学研究科地域連携センター
ボランティア・社会貢献の取組

ボランティアサークル「ちゃぼ」の活動について

「ちゃぼ」は、小学校に通っている病気をもつ子どもや心の悩みを抱える子どもと一緒に学習したり、会話や遊びを通して、子ども達が楽しく学校生活を送れるようにサポートするためのボランティアサークルです。また、極低出生体重児とご家族、発達が気になるお子さんとご家族の子育て支援教室でもボランティアを行っています。子育て教室では、お子さん向けの託児やご家族向けのプログラム、親子で参加する様々なイベントでボランティアスタッフとして活動しています。

お問い合わせ先 「ちゃぼ」

<https://www.ku-child-health-nursing.jp/pages/6778995/volunteer>
地域連携センターホームページ：
<https://www.edu.kobe-u.ac.jp/fhs-renkei/>



神戸大学ホームカミングデイ

「振り返れば六甲の山並～あの頃の友に会いたい」を
 キャッチフレーズにはじまったホームカミングデイ
 ホームカミングデイ第17回 2023年10月28日(土)

卒業生・教員のイベント、学生
 や職員の発表、応援団総部演
 舞、学生企画の屋台や物品販
 売、特別展、各学部での企画な
 ど盛り沢山の内容で、卒業生同
 士の旧交を温めるとともに大学
 の活動を知っていただく日



地域密着型サークル
 にしき恋特産！
 黒枝豆販売！
 40キロ・完売しました。



災害・復興ボランティア活動・写真展
 (岩手県大槌町・宮城県仙台市・神戸市)
 沢山の方にご紹介できました。

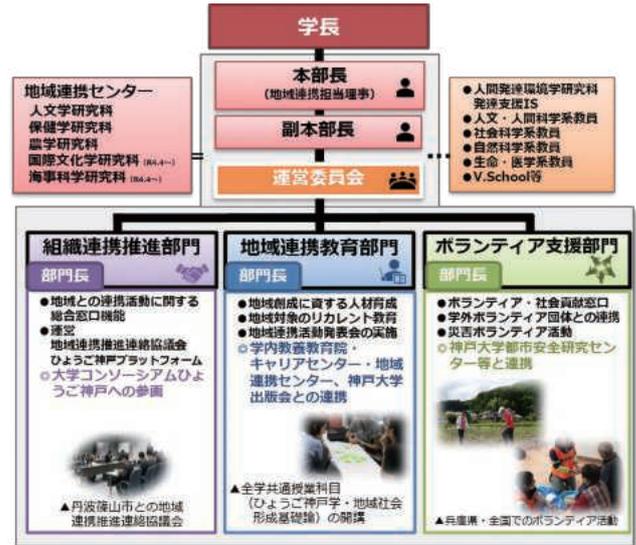


神戸大学ボランティアバスプロジェクト 神戸大学持続的災害支援プロジェクトKonti

神戸大学地域連携推進本部

地域連携推進本部は、大学全体として地域貢献に取り組むための窓口とな
 り、自治体と連携し、本学の人的・物的資源を活用し、個性豊かな地域社会
 の形成を支援するとともに地域の課題の解決を図り、地域の発展を支援す
 る地域連携事業を推進する組織です。

- ・地域との連携活動に関する対外的な窓口機能
- ・魅力ある地域づくりへの協力
- ・神戸大学と自治体との連携事業の推進
- ・神戸大学における地域連携の組織的な取り組みへの支援
- ・神戸大学地域連携推進連絡協議会の運営
- ・ボランティア・社会貢献活動への支援



【授業】全学共通授業科目

「ボランティアと社会貢献活動(A)」

1・2・3・4年対象

「ボランティアと社会貢献活動(B)」

1・2・3・4年対象

ボランティアの語源はラテン語のVoluntas「自由意志」といわれています。

授業はオムニバス形式で、幅広い分野の教員、企業人、NPO関係者の講義です。詳しくは大学のシラバスを参照してください。

ボランティアと社会貢献活動(A) <第3クォーター>

教員、弁護士、企業人、NPO関係者など多様な講師陣によるオムニバスの座学講義。ボランティアと社会貢献は、今や特別な行動ではなく日常です。社会、あるいは大学生活の中でのボランティア活動や社会貢献の取組を多様な視点、アプローチで学びます。

農村ボランティアと住民参加
災害・復興とボランティア
国際協力と社会貢献・フェアトレード
メディアと社会貢献
専門性とプロボノ・ボランティア
地域医療とボランティア
企業と社会貢献 CSR/CSV
理論とまとめのワークショップ



ボランティアと社会貢献活動(A) 受講者の感想

- ・想像以上にボランティアに対して興味がわいた。
- ・自分の中にあつたボランティアの認識が大きく変化した。
- ・何かの考え方や価値観を変えてくれそうな人に出会えるかを探しに来た。
- ・いろいろな場でボランティアをされている人のお話が聞けて、良い経験になりました。
- ・大学でボランティアについて学べるのが新鮮。
- ・話を聞けて、よりボランティアというものが具体的に知れたのでこれを選んで良かったと思う。
- ・既にボランティアをしてみたいと思っています。
- ・ボランティアをすることで異なるコミュニティに行き視野を広げたり、判断力をつけたりできる！
- ・これから就活するので、社会貢献している企業により注目していこうと思います。
- ・社会に貢献できるような職に就きたいと考えていて、様々な職種の人々のお話を聞くことができる。
- ・とても興味深く授業を受けることができました。ありがとうございました。

ボランティアと社会貢献活動(B) <第4クォーター>

地域でボランティア・社会貢献活動を実践している講師によるオムニバス講義を受けます。講義後、関心ある2つ以上のテーマを選び、そのテーマの実習日(あるいは希望日)に現場へ足を運び、ボランティア実習に取り組みます。

農業ボランティアと地域(座学)	テーマ①
灘区のにぎわい 商店街・市場(座学)	テーマ②
ユニバーサル社会と障がい者(座学)	テーマ③
● 実習回(第1回)テーマ①～③から選択	
阪神・淡路大震災、東日本大震災と多文化共生(座学)	テーマ④
地域に根付いたボランティア(座学)	
● 実習回(第2回)テーマ①～④から選択	
ボランティアと社会貢献 まとめのワークショップ	



農業・竹林整備

経済・にぎわいづくり



災害ボランティア・慰霊祭

ボランティアと社会貢献活動(B) 受講者の感想

- ・今までボランティアをしてみたいと思ったことがあつたが、何から始めればよいかかわらなかつた。この授業のシラバスを見てボランティアの実習の記述があつたためチャンスと思って履修した。
- ・ボランティアに参加してこなかつた自分が、この授業を通してボランティアをはじめとする「人と関わる」ということを見直したかつたから。
- ・さまざまな分野のボランティアを通して人と人のつながりを重要視するという共通点を見つけた。
- ・きっかけづくりが大切だと思う。
- ・大学の授業であると参加するハードルが下がるため良いと思う。ボランティアが楽しいことであるというイメージをもっと広げるべきだと思う。
- ・1回やることがあつてとてもやりがいがあつたが、自分でやる機会がなかつたから。
- ・やりがいの大きなボランティアをやってみたい。人によってやりがいを感じる瞬間は異なるが、自分は人の温かさを感じるボランティアをやってみたいと思った。

ボランティア・社会貢献活動の支援

ボランティア支援部門

◎ ボランティア・社会貢献活動スタートのお手伝い

- ❶ 興味関心のあるテーマにあった活動やグループ・団体の紹介
どこから活動をスタートしたらいいかわからない、という方へ、学内外のボランティア活動、関係団体を紹介します。
- ❷ ボランティアグループ立ち上げなどへのアドバイス
仲間をつくって活動を始めたい方、案の実現に向けた企画書、規約づくり、助成金申請など支援します。
- ❸ ボランティア関連の情報発信
メールニュース、Facebook、Instagram、X(Twitter) SNSフォローしてください。
学内外のボランティア情報や募集案内をお届けします。

- ◆ 災害ボランティア活動相談の仕組みがあります。連絡お待ちしています。
- ◆ ボランティア保険に加入しましょう！

◎ ボランティア・社会貢献活動団体への助成事業

- ☆「学生地域アクションプラン」(神戸大学生対象・教員申請)
地域社会と連携した学生の活動支援助成
- ☆「学生ボランティアサポート」(登録ボランティア団体)
学生団体が取り組むボランティア・社会貢献活動助成
- ☆「地域連携事業」(神戸大学教職員対象)
教員が取り組む地域活性化や課題解決を目的とする事業助成

【授業】 全学共通授業科目 1・2・3・4年対象(令和6年度)

- ボランティアと社会貢献活動 A (第3クォーター・水 5限)
- ボランティアと社会貢献活動 B (第4クォーター・水 5限)

ボランティアを始めたい／頑張っている活動の一層の展開を考えている
学生・教職員の地域活動、社会貢献活動をお手伝いします。

◎ 神戸大学登録ボランティア団体の支援内容と活動のお手伝い

神戸大学学生ボランティア団体の活動支援を目的とした登録制度があります。
兵庫県内外で農業、災害、地域福祉、国際、多世代交流、学習支援など多様な分野で活躍する、20以上の学生団体が登録しています。
“ボラカフェ”(ボランティア団体の交流カフェ)や“新歓”(新入生歓迎会)を合同で開催したり、案内チラシの印刷やイベント時にカメラ・ビデオ、プロジェクター、テントほかの備品を貸し出したり、活動相談にも乗ります。

地域福祉、国際、多世代交流、学習支援、農業、災害など、多彩な分野で活躍する学生団体が登録しています。多様な支援メニューがあるので相談にきてください。(要事前予約)

- ❶ 団体運営の相談
仲間づくり／情報発信／会計処理／資金調達／世代交代など
「運営について考えたい」時などに声をかけてください。
- ❷ ミーティングルーム貸出
〔産官学連携本部棟・4F／2F〕月1回／各団体
(原則:相談ください)
- ❸ 活動用機材器材の貸出
プロジェクター、スクリーン、ビデオカメラ
デジタルカメラ、オンラインカメラ
ワイアレスマイク・スピーカー、ICレコーダー(ほか)
- ❹ ボランティア活動資料作成の手伝い・印刷
イベント用の特大一文字なども印刷できます。
(要事前相談)
- ❺ 団体のイベント、研修会企画、会場や講師の紹介などの実施支援
- ❻ 各団体のイベント情報の発信(内容や希望に応じて)
地域連携推進本部ホームページにて各団体の紹介や活動取組を掲載します。



学生団体が受けている助成金

大学と連携したまちづくりチャレンジ事業補助金

(灘区)

(丹波地域)学生等による地域貢献活動推進事業
(兵庫県丹波県民局、丹波篠山市)

ひょうごボランタリー基金助成事業県民ボランタリー活動助成
ひょうご若者被災地応援プロジェクト

(ひょうごボランタリープラザ)

ひょうご安全の日推進事業助成金(若者支援事業)
(ひょうご安全の日推進県民会議)

コープともしびボランティア振興財団

神戸大学育友会

神戸大学基金

学生地域アクションプラン

(神戸大学地域連携推進本部)

学生ボランティアサポート
(神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門)

地域に、社会に支えられる活動



神戸大学では学生・教職員のボランティア・社会貢献活動を支援しています。ボランティア・社会貢献に関心ある学生の活動スタートアップのサポート、ボランティア活動を受け入れる地域とのマッチングや、学生たちが主体的に取り組む多様なボランティア活動の現場に足を運んでいます。その上で学生・団体との意見交換を行うとともに、地域や自治体、社会福祉協議会、NPO関係者と連携を図りながら応援しています。「ボランティアと社会貢献活動(A)・(B)」では、社会で活躍するオムニバスの講師陣から実践と理論を学べます。

**ボランティア支援・相談：事前予約アポイント制です。
お気軽にどうぞ。**

神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門

事務担当：研究推進部 連携推進課

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1

産官学連携本部 5階(六甲台 第2キャンパス)

TEL：078-803-5391 FAX：078-803-5389

Eメール：crsu-vol@office.kobe-u.ac.jp

地域連携推進本部ホームページ <https://www.office.kobe-u.ac.jp/crsu-chiiki/>



Facebook：@volunteerchiikikobeu

Instagram：@volunteerkobeu

X(旧Twitter)：@kobeuvolunteer

本冊子は神戸大学基金の助成を受けています

